

## 【三重県鈴鹿市】【三重労働局ハローワーク鈴鹿】

# 障害者が人や社会とつながる「就労マルシェ（市場）」を実施

市、ハローワーク、福祉作業所、企業等が参加し障害者に多様な就労形態を提案！

### 【課題・目的】

「働くこと」は、経済的な基盤づくりや社会の一員としての自覚・社会貢献を感じることでなるため、「一般就労」「福祉的就労」「創業起業」という3つの「働き方」をとおした障害者の仕事の選択性を広げるとともに、市民への障害理解を促進することを目的とした。

### 【実施概要】

- ◆ 平成25年8月29日、鈴鹿市立体育館において開催。
- ◆ ①一般就労ゾーン（就職相談会）、②福祉就労ゾーン（福祉就労相談会）、③創業・起業ゾーン（起業した障害者や特例子会社等の講演等）、④商談・交流ゾーン（物販・展示、飲食コーナー）を設置。

### 【役割分担】

#### 【鈴鹿市】

企画・実施（決定）・運営・予算全般にかかる業務を、関係機関と協力し実施。

#### 【ハローワーク】

実行委員会委員として一般就労ゾーン（企業面談ブース）において、企業への参加依頼、求職者への案内、当日の進め方の立案等を担当。



#### ＜鈴鹿市コメント＞

人や社会とつながるきっかけとして、クローズドな場の提供でなく、対象者以外の方ともかかわるオープンな場の提供を行った。

今後の課題を見出す形となったため、次年度に質を高めた開催計画を予算化し、改善して開催したい。

#### ＜労働局コメント＞

三重県の障害者雇用率が低迷している中で、就労マルシェを通じ障害者の方に複数の選択肢があることを理解いただけた。一般就労に向けた効果を期待。

### 【効果】

- ◆ 受付来場者340名、出展企業関係者160名、関係者70名参加。
- ◆ 一般就労ゾーンには13社が出展、121名が面接し、11名が就職決定。
- ◆ 福祉事業所への一般企業発注（下請け）に1件結びつく。
- ◆ 参加者へのアンケートで継続開催を要望する多数の声が寄せられた。